



発展を続けるコンタクトレンズ

薬剤含有レンズの可能性

コンタクトレンズは屈折や調節の異常に対する視力補正目的で使用される高度管理医療機器ですが、それに加えて様々な機能を持つものが考案、実用化されています。今回は抗アレルギー薬を配合したコンタクトレンズのお話です。

イオン性レンズといって、マイナス電荷を帯びた素材で作られたソフトコンタクトレンズには含水率が高いものがありま

そのレンズにプラス電荷を持った抗アレルギー薬成分を吸着させ、

取り込んだものが薬剤含有レンズです。レンズを目に装着すると涙液を介して薬効成分がレンズから放出され、眼表面に行き渡るといいう仕組みです。放出は数時間続き、徐放剤のように作用します。

薬剤含有レンズは、アレルギー性結膜炎があるコンタクトレンズ装用者の眼症状を緩和する目的で開発されました。ただ、強い結膜炎症状が続くようならコンタクトレンズ自体が使用できません。それでも日本には花粉症患者が多く、アレルギー

性結膜炎、鼻炎の既往があるコンタクトレンズユーザーにとって有望な選択肢になり得ると思います。但し、このコンタクトレンズは医薬品ではないので、アレルギー性結膜炎を治療することにはなりません。治療には点眼薬が必要です。また、レンズ処方や継続使用の判断には必ず眼科医の診察が必要であり、インターネット通販での個人購入は出来ません。レンズは1日交換タイプです。視力補正に関して、乱視矯正用や老視対策の遠近用はまだ用意されておらず、今後の課題です。

それでも日本には花粉症患者が多く、アレルギー



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	○	○	△
18:00	○	○	○	○	○	○	△

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

